

きぼう

——— 基本理念 希望のある医療 ———



院長あいさつ

市民病院では、患者さまを中心とした医療を展開しています。

その第一歩として、職員一人ひとりへの周知徹底を図り、また、患者さまに知っていただくために「基本理念」と「患者さまの権利、患者さまへのお願い」を掲げています。基本理念である「希望のある医療」は、生命の尊厳と人間愛を基本とした真に患者さまのための医療を遂行しようという私たちの信念です。「患者さまの権利、患者さまへのお願い」は、患者さまが人間としての尊厳を有し、患者さま中心の医療を受ける権利を大切にしようとするものです。

多くの業務をマニュアル化することで、すべての患者さまにレベルの高い、平等な医療の提供ができる環境が整いました。最新の医療機器を導入し、患者さまにやさしい検査・治療が行える施設に成長しました。

真に患者さまのための医療を遂行するため、地域の医療施設と協力し合い、市民病院としての特性を活かし、全市民、近隣地域の皆さまに信頼される病院に発展していくことを誓います。



院長
玉田文彦

診療科紹介

—脳神経外科—

平成16年4月に着任した森川雅史、林成人の2名の脳神経外科専門医が、患者さまの診察にあたっています。

取り扱っている疾患は、脳腫瘍、脳卒中、頭部外傷、脊椎・脊髄疾患、顔面けいれん、てんかんなど、脳神経外科疾患全般にわたっています。

月曜日が手術日のため、外来は火曜日から金曜日の午前中に診察を行っています。当科では、最新の診療機器（MRI、マルチスライスCT、3D-DSA）を用いて、できる限り迅速に診断を行っています。

外来では特に脳卒中の予防にも力を入れています。脳ドックを、原則毎週金曜日の午後に行っており、できる限り当日にすべての結果を説明しています。（詳しくは医事課にお問い合わせください。）

手術に関しては、事前に患者さまやそのご家族と十分話し合い、患者さまにあった最良の手術を行っています。また術中ニューロナビゲーションシステム、脳神経機能モニター、神経内視鏡、術中超音波などを用いて、より安全でより低侵襲の手術を心がけています。

突然半身に力が入らない、ろれつが回らない、片側の目が見えなくなる、天井が回るようなめまい、いつもと違う激しい頭痛、意識障害などの症状は脳卒中症状が考えられます。できるだけ早く治療を開始することでその後の回復が違います。



林 成人



森川雅史

知っていますか？脳卒中予防10か条

(日本脳卒中協会)

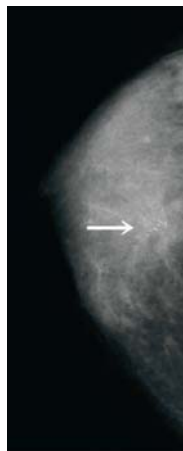
- 1 手始めに高血圧から治しましょう
- 2 糖尿病、放っておいたら悔いが残る
- 3 不整脈、見つかればすぐ受診
- 4 予防には、たばこを止める意志を持って
- 5 アルコール、控えめは薬、過ぎれば毒
- 6 高すぎるコレステロールも見逃すな
- 7 お食事の塩分・脂肪、控えめに
- 8 体力に合った運動続けよう
- 9 万病の引き金になる太りすぎ
- 10 脳卒中、起きたらすぐに病院へ

当院では、24時間いつでもCT、MRI、脳血管撮影検査ができる救急体制を敷いています。遠慮なく脳神経外科専門医にご相談ください。

脳神経外科 医長 森川雅史

医療機器紹介

乳房専用X線撮影装置の導入 マンモグラフィー



近年、乳がんは女性のがんのトップになりました。乳がんの発生は20歳過ぎから認められ30歳代ではさらに増え、40歳代後半から50歳代にピークを迎えます。

現在、乳がん健診では50歳以上の対象者には視触診に加えて、マンモグラフィーが取り入れられています。

マンモグラフィーは、乳腺、乳房専用のX線撮影を行い乳がんを診断する方法のひとつです。乳房を圧迫し、X線を用いて撮影を行います。

乳房専用X線撮影装置は、低電圧撮影や特殊なフィルターを使い、通常のX線撮影では写らない非常に小さな病気や、見つけにくい病気を写すことが可能な装置です。

触ってもわからないような早期の小さな乳がんはもちろん、しこりを作らない乳がんを白い影（腫瘍影）や非常に細かい石灰砂の影（微細石灰化）として見つけることができます。

院外処方のお知らせ

厚生労働省の「医薬分業」制度に沿って、市民病院では、平成17年4月1日からすべての外来患者さまを対象に院外処方せんを発行することになりました。

院外処方せんとは、院内の薬局ではなく、院外の「保険調剤薬局」で薬を調剤してもらうための処方せんのことです。保険調剤薬局を自由に選んで、そこでお薬を受取ることができます。



①診察を受けます。

※あらかじめ、保険調剤薬局へ院内のFAXより処方せんを転送しておくことができます。

病院
診察・検査・処置



②会計窓口で会計をお済ませください。
院外処方せんをお渡します。

(お薬代は含まれません)



保険調剤薬局
薬のチェックと説明

③院外処方せんを4日以内に保険調剤薬局へお持ちになってください。
会計(お薬代)を済ませ、薬をお受け取りください。

院外処方のメリット ~かかりつけ薬局をもちましょう~

- 1 「かかりつけ薬局」(保険調剤薬局)において薬の管理を行うことにより、薬の飲み合わせの有無が確認できます。
- 2 薬の効果、副作用、用法などについて、薬剤師(保険調剤薬局)が、処方した医師・歯科医師と連携して、患者さまに説明(服薬指導)することにより、患者さまの薬に対する理解が深まり、薬の使用法も正確になります。
- 3 処方せんを患者さまに交付することにより、患者さま自身が服用している薬について知ることができます。
- 4 患者さまがファックスを利用して、あらかじめ保険調剤薬局へ処方内容を転送し、後で処方せんを持って行けば薬を受取る待ち時間が短縮できます。
- 5 「かかりつけ薬局」を決める場合、国内の保険調剤薬局であれば患者さまが自由に保険調剤薬局を選択することができます。
- 6 高齢社会が進むなかで、患者さまと「かかりつけ薬局」がペアとなって、より安全な薬の使用が可能となります。

このような点をご理解のうえ、ご協力よろしくお願いいたします。

特殊外来紹介

ケミカルピーリング

ケミカルピーリングは、精製度の高いグリコール酸を用いて、お肌をよみがえらせるプログラムです。グリコール酸はコラーゲンの合成促進や美白といった効果を有し、特に、にきびには効果が高いとされています。

当院では、第1・3水曜の午後に、にきびの患者さまに限定して行なっております。お肌の状態や治療回数に応じて、時間やグリコール酸濃度を調整しますが、時間は1回30分程度です。治療後すぐに、お化粧をしてお帰りいただけます。

にきびの治療としては、抗生剤の内服や外用治療が一般的ですが、ケミカルピーリングの併用にて高い効果が期待されます。

従来の治療で効果不十分な患者さまは一度、当科にご相談ください。

皮膚科医師 松永亜紀子



第1・3水曜午後(予約制) 14:00~16:00

※初回は午前的一般外来を受診してください。

施術1回 6,300円 <保険適用外>

満足度調査結果のご報告

～平成16年10月実施～

ご協力ありがとうございました。この結果は、平成16年12月15日から平成17年1月14日まで玄関ホールに掲示させていただきました。多数のご意見とともに、この結果を職員一人ひとりが自分のこととして受け止め、患者さまに満足していただけるよう心がけていきます。

● 初診のとき、受付から診療科までの時間は？

1 短い	7%
2 普通	35%
3 長い	58%

● 呼ばれるまで何分程度かかりましたか？

1 29分以内	22.5%
2 30～59分	40.5%
3 1時間以上	37.0%

● 医師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	47%
2 普通	44%
3 悪かった	6%
4 わからない・評価できない	3%

● 看護師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	45%
2 普通	43%
3 悪かった	11%
4 わからない・評価できない	1%

● 検査技師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	34%
2 普通	59%
3 悪かった	4%
4 わからない・評価できない	3%

● 放射線技師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	29%
2 普通	62%
3 悪かった	4%
4 わからない・評価できない	5%

● 薬剤師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	35%
2 普通	59%
3 悪かった	4%
4 わからない・評価できない	2%

● 外来受付窓口職員の対応はいかがでしたか？

1 良かった	25%
2 普通	62%
3 悪かった	10%
4 わからない・評価できない	3%

抜粋

小集団活動

—看護局の取り組み—

看護局では平成15年度末から小集団活動に取り組み、平成16年10月16日福祉保健センター中ホールで活動の成果を発表しました。「小集団活動」とは、「同一職場又は同一職種の人たちが小集団を結成し、その中のリーダーを中心に話し合いの場を持って、自主的に目標を立てその達成のために努力する活動」です。病院が求められる課題(安心や満足)などに応えるために、全員で取り組みました。

その内容は、患者さまが安心して医療を受け満足していただけるように、ユーモアあふれる活動となっています。活動を通して作成した色鮮やかなポスターやパンフレットを院内で見かけられることがあるかと思えます。



発表風景(手術室看護師)

5階西病棟の活動

スタッフが3チームに分かれ活動しています。

Aチーム:患者さまが看護記録の中で主役になれるようにしました。

Bチーム:収納スペースを整理整頓し、廊下に不要な物品を置かないように努め、患者さまが安全に廊下を歩ける環境を整えました。

Cチーム:採血・採尿を患者さまに正しく理解していただけるよう説明用紙を、また看護師の説明方法を統一するためにマニュアルを見直しました。

今回の活動を通して、3チームがお互いの活動に刺激を受け、病棟内が活性化されました。

また、小集団活動発表会においては、市長賞・院長賞を受賞しました。受賞はスタッフの一層の励みとなり、活動を継続してがんばっています。



5階西病棟 前田敏子

教室のご案内

市民病院では、「糖尿病教室」「腎臓病教室」「透析教室」を開催しています。

慢性疾患は、適切な食事療法、規則正しい生活、正しい服薬など、自己管理を行うことが最も大切です。

療養生活は患者さまのものだけでなく、ご家族の協力も必要になりますので、一緒にご参加ください。

市民病院に通院していない方も参加できます。参加料は無料。(ただし、食事療法は有料、要予約)



たんぱく質と塩分を控えた食事

日程等の詳細は、腎センター(内線5595、10時~15時)まで

『突然、意識がなくなって倒れた人がいる!』 ～そのとき何が必要か?～



意識がなく、呼吸もせず、脈の触れない状態を心肺停止といい、そのような患者さまの命を単に救うだけでなく、脳循環を保ち社会復帰を目指すという大きな理念の基に救急救命処置がおこなわれています。

少しでも救命率を上げるためには『救命の連鎖(以下の①から③)』と呼ばれる初期治療が非常に大切です。そこで私たちは定期的に救急救命処置訓練『院内ICLS(Immediate Cardiac Life Support)講習』を行っています。

具体的には目の前に『突然、意識がなくなって倒れた人がいる!』という状況で

①まず、人を呼び集める。

②救命処置 A:Air way 気道確保し呼吸しているか確認
B:Breathing 人工呼吸
C:Circulation 心臓マッサージを行う。

③電氣的除細動、気管内挿管や薬剤投与、原因検索とそれに対応する治療をする。

以上のように身近に器具がなくても、医師が側にいなくても脳循環を保つために、まず出来ること(①②)と病院だからこそできる処置(③)についてトレーニングしています。

当院ではスタッフ全てが、救命救急処置を迅速に行えるようにとの目標から、対象を医師だけではなく看護師・放射線技師・検査技師に広めています。

消防本部の救急救命士と協力し、病院スタッフとの連携を深めて頑張っています。



地域医療連携だより 得する医療豆知識

「地域医療連携」をご存じですか?

大きな病院へ行くと、待ち時間が長い、かかりつけ医のところへ帰りにくいなどといったご心配・ご不安をお持ちではないでしょうか?地域医療連携とはこうした心配・不安を解消するために考えられたシステムです。

具体的には、地域の医療機関(かかりつけ医等)から事前に検査や診療などの依頼を受けると、当院が、診療予約をし、かかりつけ医が予約日時を連絡して、患者さまが来院されたときには、予約患者さまとして、検査や外来へ直接向かっていただけるよう手配します。

また、事前の依頼がない場合でも、紹介状をお持ちでしたら、紹介患者さまとして、診療の報告書などを紹介された先生にお送りしています。

そして、地域の医療機関へ通院を希望される患者さまへは、速やかに、ご紹介をしています。

当院では、このシステムをより多くの患者さまに利用していただき、少しでも快適な医療を受けていただくよう努力しています。

こんなサポートをしています!

介護保険はいまや多くの患者さまが利用される保険制度となっていますが、「どのような場合にどのようなサービスが受けられるのでしょうか?」といった声を耳にします。

当院では、このような疑問にできるだけ速やかに応えることができるように専任の看護師を設置しました。

入院治療が終わり、在宅にて介護を受けたいと思っ
ているご家族・患者さまは、是非、主治医とご相談ください。
主治医から専任の看護師へ<在宅介護支援>もしくは
<看護相談>の依頼をします。

●在宅介護支援

ご自宅で療養される患者さまに介護相談をし、ケア・マネージャーと連携することで在宅での療養をサポートします。

●看護相談

入院前から退院後までのいろいろなお相談(かかりつけ医・訪問看護ステーションとの連携、転院先、施設の紹介など)を行います。

市民病院が生まれかわりました!

基本理念

希望のある医療

医療の到達目標

私たちは、生命の尊厳と人間愛を基本として「真に患者さまのための医療」を目標とします。

行動指針

- 地域中核病院として高度で良質な医療を提供できるよう努力します。
- 親切的な医療現場を構築し、真の親切に基づく医療を遂行します。
- 良き医療は良き経営に支えられることを念頭に努力します。
- 互いに協力と和を尊び、チーム医療を中心とした医療を行うよう努力します。

患者さまの権利

- 個人として常にその人格が尊重されます。
- 良質な医療を平等に受けることができます。
- 十分な説明を受けることができます。
- 治療方針などを自らの意志で決定できます。
- 他の医師の意見を聞くことができます。
- プライバシーは尊重されます。

患者さまへのお願い

- ご自身の健康に関する正しい情報を提供してください。
- 病院のきまりや約束ごとをお守りください。

私たち、職員一人ひとりが常に自覚し、信念として持ち続けるために、また、すべての患者さまに知っていただくために、「基本理念」、「患者さまの権利、患者さまへのお願い」を院内に掲示しています。

平成16年12月、私たちは、市民の生命と健康を守るため、「患者さまの権利」を制定しました。私たちは、患者さまが人間としての尊厳を有しながら、患者さま中心の医療を受ける権利を大切にしています。また、患者さまとの相互の信頼関係に基づき、患者さまの主体的な参加のもとで医療を行います。

真に患者さまのための医療を実践することを誓います。

ご意見箱を設置しました

「医療サービスの向上と良質な医療の提供」のため、患者さまの声をお聞かせください。

設置場所: 玄関出入口横

エレベータ(1F)前

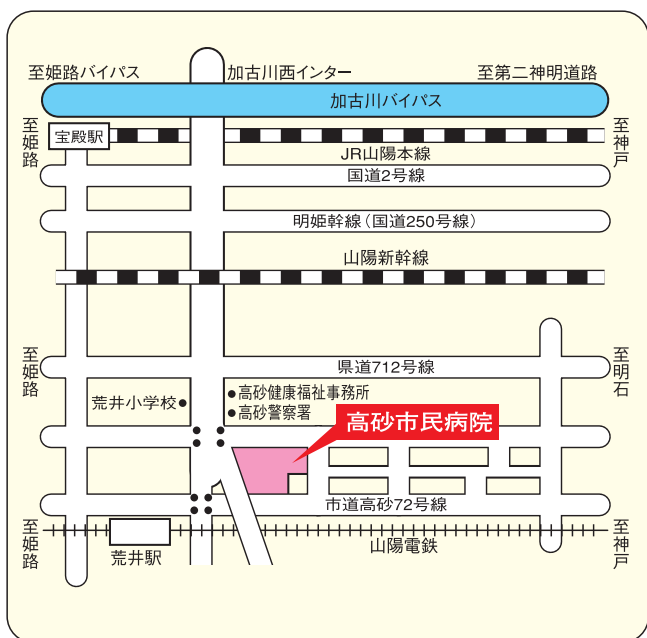


診察開始 9時～
診察受付 8時30分～11時

週間外来診察予定表

平成17年3月1日～3月31日
診療予定は予告なく変更する場合があります。

診療科		月	火	水	木	金	
内科	1診(初診)	午前	杉本	廣末	玉田	来田	國吉
	2診(初診カ)	午前	岡本	林	井垣	岩田	前田
	3診	午前	来田	岩田	後藤(武)	後藤(武)	林
	4診	午前	井垣	玉田	岡本	前田	杉本
	5診	午前	廣末	後藤(俊)	粕本	門口	廣末
	6診	午前	國吉	田中	竹本	駒場	土居
神経科	1診	午前	三宅	佐々木	三宅	三宅	三宅
	2診	午前	荒木	荒木	荒木	荒木	佐々木
小児科	1診(9時～)	午前	見須	表利	三木	見須	見須
	2診(10時～)	午前	表利	見須	見須	表利	三木
	一般(14時～)	午後	見須	表利	見須	表利	見須
	特殊専門(14時～)	午後	血液・ 免疫・ 予防接種	喘息・ アレルギー	乳児検診	腎臓・ 喘息・ アレルギー	脳神経
外科	1診	午前	的場	中川	渡部	大上	寺田
	2診(初診)	午前	渡部	大上	大野	的場	大野
整形外科	1診(初診)	午前	池田	振角	坪田	当番医(初診のみ)	杉本
	2診	午前	本間	池田	本間		池田
	3診	午前	振角	中川	振角		中川
	4診	午前	杉本	坪田	杉本		坪田
脳神経外科	1診	午前	休診	森川	林	森川	森川
皮膚科	1診	午前	高井	松永	高井	松永	高井
泌尿器科	1診	午前	松井	朴	(予約再診のみ)	朴	松井
産婦人科	1診	午前	太田	太田	市村	太田	市村
眼科	1診	午前	神大医師	神大医師	休診	神大医師	神大医師
耳鼻咽喉科	1診	午前	下屋	下屋	下屋	代診	下屋
放射線科	1診	午前	休診	石田	石田	松本	休診
	2診	午前	休診	松本	松本	石田	休診



下記の外来は予約制です。

- 外科:** 下肢静脈瘤硬化療法(水曜日15時～)
- 皮膚科:** にきびを対象としたケミカルピーリング(第1・3水曜日 14時～)
- 整形外科:** スポーツ外来(金曜日14時～15時30分)

交通手段

- [鉄道]** 山陽電車荒井駅下車徒歩3分
- [バス]** 神姫バス高砂市民病院前下車すぐ
じょうとんバス高砂市民病院下車すぐ
- [車]** 加古川バイパス加古川西インターから南へ約10分

編集・発行

高砂市民病院広報誌編集委員会

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

☎ 0794-42-3981(代表)

<http://www.hospital-takasago.jp/>